

平成30(2018)年7月4日に世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の一つとして原城跡が登録されました。原城跡は寛永14(1637)年から寛永15(1638)年に起こった島原・天草一揆の主戦場であり、一揆の総大将・天草四郎が籠城した場所です。令和5(2023)年は世界遺産登録から5年を迎える節目の年です。

## I 描かれ続ける四郎

後世にわたり四郎は書物や絵画で描かれつづけ、時代によってさまざまな四郎像が出現します。明治から平成までの四郎を一挙紹介。容姿端麗な美少年に描かれる四郎、甲冑を着て勇ましく描かれる四郎、みなさんほどの四郎が推しでしょうか。



「嶋原陳」(天草四郎ミュージアム所蔵)▶

## II 四郎の最期

原城跡本丸には寛永15(1638)年2月28日原城総攻撃の際、四郎が詰めていた「四郎家」があります。そこで四郎は一揆軍を指揮していました。九州各地から原城に集結した幕府軍は原城を攻め、四郎の首を打ち取ったのです。原城での四郎の最期を、原城絵図や文献資料から紹介します。



「寛永治迹」  
(南島原市教育委員会所蔵)▶

## III 祈り

原城から出土した十字架は島原半島内でのキリシタン信仰を示す遺物です。島原半島ではキリシタン大名・有馬晴信のもとキリスト教が受容され、セミナリヨで学んだ天正遣欧使節がローマに派遣されました。島原半島はキリスト教と深い関わりを持ち、それを示す資料として「黄金の十字架」が原城跡から出土しています。さらに、島原・天草一揆の際、原城ではキリシタン信仰による結束をはかるため銃弾を溶かした十字架が製作されていたのです。



▲「黄金の十字架」(南蛮文化館所蔵)

ミニテーマ展「原城街灯フラッグ展」同時開催!



この街灯フラッグを知っているあなたは「原城通」! 商工会青年部南有馬支部の皆さんが毎年制作。期間中、歴代の街灯フラッグを一挙大公開です!

※背景画像:「坂倉意筆書状」部分(個人蔵)、「有馬軍記」部分(個人蔵)

# 有馬キリシタン遺産記念館

## Arima Christian Heritage Museum

〒859-2412 長崎県南島原市南有馬町乙1395

開館時間 | 9時~18時

休館日 | 毎週木曜日

入館料 | 一般300円 高校生200円 小・中学生150円(常設展示も観覧可)

電話 | 0957-85-3217 メール | arimamuseum3217@gmail.com



公式Instagram



公式Twitter

交通アクセス

車、バス、フェリー、島原鉄道、バスなどのアクセス方法がございます。詳しくは、右のQRコードから観光協会のHPをご参照ください。

